科目ナンバリング	U-LAS05 10004 LJ40						
授業科目名<英訳>	生態人類学Ⅰ Ecological Anthropology I			担当者所属職名・氏名	アジア・アフリカ地域研究研究科 教授	安岡　宏和	
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	地域・文化(基礎)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・前期	曜時限	火2	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

生態人類学とは、人間社会と生態系の関係についてフィールドワークをとおして研究する学問である。本講義では、狩猟採集社会の生活・生業活動に着目しながら、人間社会と生態系の関係のあり方がどのような特徴を持っているかについて論じる。

[到達目標]

人間社会と生態系の関係を特徴づけているその多様性が、どのような基盤のうえになりたっているかについて、複数の論点をあげながら論じることができるようになる。

[授業計画と内容]

第1回　イントロダクション
第2回　生態系のなかの人間
第3回　集団の再生産と重層化
第4回　食物・モノの分配：生態から経済へ
第5回　多様なエコシステムへの進出：人間どうしの棲み分け
第6回　ドメスティケーション：相利共生の深化と基軸化
第7回　系外物質・エネルギーの投入：エコシステムの接続と画一化
第8回　マルチスピーシーズ歴史生態学へ
第9回　バカ・ピグミーの生活
第10回　遊動型狩猟採集民の特徴
第11回　エガリタリアンとは何か？
第12回　狩猟採集民はずっと狩猟採集民だったのか
第13回　アンチ・ドムスという生き方
第14回　ゾウ肉タブーとシェアリング
第15回　フィードバック（方法は別途連絡）

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

期末レポート（100%）

[教科書]

使用しない

生態人類学Ⅰ(2)へ続く↓↓↓

生態人類学Ⅰ(2)

[参考書等]

（参考書）

安岡宏和 『アンチ・ドムス：熱帯雨林のマルチスピーシーズ歴史生態学』（京都大学学術出版会, 2024年）ISBN:9784814005079

高田 明 『狩猟採集社会の子育て論：クン・サンの子どもの社会化と養育行動』（京都大学学術出版会, 2022年）ISBN:9784814004287

（関連ＵＲＬ）

https://www.cci.jambo.africa.kyoto-u.ac.jp/
https://sites.google.com/kyoto-u.ac.jp/yasuoka/
https://sites.google.com/view/casinkyoto

[授業外学修（予習・復習）等]

授業中に紹介した文献を読むこと。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]